

日本時間の4月15日未明、公表された合格者リストに小室圭さんの名前は見つからなかった。眞子さんはこの事態を見越して仕事を始めたのか？ 関係者にNY生活の今後取材した。

「2回目の司法試験を受けた後の小室さんの顔は青ざめていました。報じられた写真では試験で手応えを感じているように見えませんでした。心配が現実のものになってしまいましたね……」

10月26日の結婚会見は半年から半年続いた波乱続々



「2回目の司法試験を受けた後の小室さんの顔は青ざめていました。報じられた写真では試験で手応えを感じているように見えませんでした。心配が現実のものになってしまいましたね……」

でも無念です。次は7月に挑戦します。しっかりと頑張ります」

日本時間の4月15日未明、ニューヨーク州司法試験委員会が、今年2月の司法試験の合格者を公式サイトに掲載したが、そこに小室圭さんの名前はなかった。

「NYの司法試験と同列に扱うことはできないかもしれませんが、日本の医師国家試験の場合、不合格が続くと、どんどん合格から遠のいてしまつて言われています。失敗したことを思い出してしま

アメリカ留学などを支援してきた奥野善彦弁護士には、小室さん本人から「不合格」の報告があったと報じられている。

「NYの司法試験と同列に扱うことはできないかもしれませんが、日本の医師国家試験の場合、不合格が続くと、どんどん合格から遠のいてしまつて言われています。失敗したことを思い出してしま

NHKによれば、それは次のような内容だったという。

「(司法試験は) 残念ながら落ちました。合格点に5点足りず、と

「NYの司法試験と同列に扱うことはできないかもしれませんが、日本の医師国家試験の場合、不合格が続くと、どんどん合格から遠のいてしまつて言われています。失敗したことを思い出してしま

回避するための選択は――

小室圭さん



メトロポリタン美術館の仕事を始めたことも明らかになった

再び不合格、離婚を



2月の試験1日目。終了後はうつつむいて会場を後に

NYで育みに

弁護士絶望的

主夫専従転身

NYで育みに

たのは今年4月に入ってからだ。「眞子さんがMET運営のWEBサイトで同館が所蔵している日本の美術品の解説文を執筆していることが明らかになりました。」

さらに「ジャパントイムズ」や「People」が、その勤務実態について報じています。すでにMETでの仕事をしているものの、現在はインターンの立場で、無給、とのこと。

ただ眞子さんの元内親王としての人脈もMETはあてにしているようで、正規の学芸員に就任することも時間の問題でしょう(前出・日本人ジャーナリスト)

裁を務めていた。そうした経歴からアーティスト・ビザと呼ばれている「オービザ」を取得できる可能性も高いというのだ。小室さんが司法試験に合格できずとも、眞子さんが収入とビザの2つの問題を解決することもできる。だが、それが現実となったとき、小室さんとの夫婦関係に何ら

い、次の試験でも実力を出し切れなくなつてしまつたのです。小室さんも今後、プレッシャーと闘っていくことになるでしょう」

立て続けの不合格が、小室さんが法務助手として働く法律事務所での立場を危ういものにしていくことは想像に難くない。

「昨年2月の試験と比べても、今年2月の試験は合格率が下がりました。小室さんのような再受験者の合格率はわずか30%でした。おそろしく小室さんは、司法試験に合格するという見込みで採用されていられると思われません。」

一般的ないえば、2回失敗したにもかかわらず、解雇されることなく、3回目のチャンスを与えられる可能性は25%といったところでしょうか。ただ小室さんは元内親王の夫であり、法律事務所としても雇用にはそれなりの計算があったと思えます。ですから解雇されずにすむかもしれません。

「ただ、小室さんがこのまま司法試験に落ち続けられれば、いつ法律事務所が解雇の決断をしないとも限らない。そのとき小室さんは収入とビザを失うことになる。」

そんな危機も予想してのことだろうか。眞子さんは昨年、自分で活路を開くための布石を打ち続けていた。

本誌はすでに昨年10月、眞子さんがメトロポリタン美術館(The MET、以下MET)への就職を目指していると報じていたが、具体的な動きとして明らかになつ

ただ今後、事務所のなかで小室さんが気まずい思いをすることは避けられないでしょうね」

現在、小室さんは学生ビザの延長であるOPTプログラムを利用して可能性が高いという。リッキーさんは、すでに小室さんは就労ビザの申請をしているのではないかと考えているという。

小室さんは弁護士に「ただわかってます」

しかし、小室さんがこのまま司法試験に落ち続けられれば、いつ法律事務所が解雇の決断をしないとも限らない。そのとき小室さんは収入とビザを失うことになる。

そんな危機も予想してのことだろうか。眞子さんは昨年、自分で活路を開くための布石を打ち続けていた。

本誌はすでに昨年10月、眞子さんがメトロポリタン美術館(The MET、以下MET)への就職を目指していると報じていたが、具体的な動きとして明らかになつ

かの影響はないのだろうか。
夫婦問題研究家の岡野あつこさ
んは次のように語る。

「ご両親や世間の反対を振り切っ
て結婚したほど、眞子さんにとつ
て小室さんは、理想の男性」だっ
たのです。その眞子さんを幻滅さ
せないため、小室さんに必要なこ
とは、つらい状況にあつても眞子
さんを尊重し、大切にし続けるこ
とだと思えます。

報道によれば眞子さんは、すで
に美術館で働いているようです。
今後、正規の職員となれば、小室
さんより高い収入を得る可能性も
あるでしょうし、「私がNYでの
生活を支える」という気持ちにな
るかもしれません。

しかし、そこで問題になるのは
夫のプライドです。嫉妬や劣等感
から妻を応援できず、夫婦間でト



昨年11月、NYの夜
景を楽しみながら歩
いていた小室夫妻



2月の試験2日目。前日と服装
がいで、笑顔もなく...

ラブルになってしまいうケースも多
いのです」

自分の夢か妻の成功か？ そん
な選択を迫られたとき、小室さん
はどうするのだろうか。前出の日
本人ジャーナリストによれば、
「小室さんと面識がある日系ビジ
ネスマンがこう言っていたことが
あります。

『彼の最大の目的はNYでの生活
を続けることで、弁護士になるこ
とではないのではないかと』と。

小室さんと話したとき、弁護士
としての将来のビジョンが明確に
伝わってこなかったことから、そ
う感じたそうです」

**眞子さんは
料理に苦手意識を**

確かにこの証言を補足する事実
もある。

「19年5月ごろ、金銭トラブルを
担当していた代理人弁護士の『小
室さんが』弁護士になるとは言っ
ていません』という発言が話題に
なったことがあります。

後に代理人弁護士はこの発言の

真意について、「一般論として、
弁護士資格を取得した後にはニュ
ーヨークで弁護士として働くだけ
ではなく、企業の法務担当や、自
身で起業するなど、さまざまな選
択肢があるということを説明した
』と語っています」（皇室ジャーナ
リスト）

前出の日本人ジャーナリストは、
小室さんが主夫に専従して、眞子
さんが働いて収入を得るという役
割分担も十分にありうると考えて
いるという。

「小室さんはフォードダム大学在学
中に、カレーを作ったり、うどん
をこねたりなど、自炊をしていた
そうです。しかし眞子さんが食材
を買っていた、料理を作っていた
などの話は聞いたことがありませ
ん。眞子さんはあまり家事が得意
ではないのかもしれませんが」

18年に眞子さんが鳥取県を公務
で訪れた際、地元の高校生との会
話で料理の話題になったとき、
「私は卵焼きは一回も成功したこ
とがないんです」

と、話しているのだ。
さらにこのジャーナリストには
「気にかけている情報」があると
いう。

「眞子さんがまったく姿を見せな
くなったこともあり、現地では一
時、妊娠の噂まで流れていました。
そんななか『デイリー・メール』
が合否発表翌日の彼女の姿を撮影

したのです。
ゆつたりしたジーンズに、ヒー
ルのない靴を履いていましたが、
今後は試験の合否や就職以外に、
眞子さんの妊娠なども注目されて
いくと思います」



世界三大美術館の1つとされ
るMETは、自宅からも近い

「『将来の私の家族』とは、眞子
さんと将来生まれてくる子供のこ
とを指していたと思われます。
数年前から、眞子さんと小室さ
んの間では、アメリカでの生活設
計について話し合われていて、そ
のなかには育児のことも含まれて
いたのでしょう」（前出・皇室ジ
ャーナリスト）

2度の司法試験不合格のため、
NY生活計画の変更を余儀なくさ
れている小室夫妻。小室さんが主
夫専従となり、やがて「育メン」
に徹する……、そんな未来も遠く
ないのかもしれない。